

著者紹介

■ボブ・モフィット

経験豊富な教師であり、組織戦略家。彼の働きは次の重要な確信を基礎としている。

- 福音は言葉による宣言と行動による実践の両方によって伝えられなければならない。
- 地域教会は、傷ついた世界において神の愛を現す第一義的な手段である。
- 神の愛の実践は、個人とグループ、両方によって行われなければならない。

ボブは、地域教会のリーダーたち、特に第三世界の牧師や教会リーダーに全人宣教の訓練を提供している団体、Harvest 財団の創始者であり代表者である。これまで Harvest 財団は全人的な宣教を訓練するための教材やカンファレンスを開発してきた。また 1981 年以降、著者は 30 カ国以上で、数千の地域教会を対象にカンファレンスを開催してきた。

以下のような経歴、経験から、著者は現在のような確信に到達した。

- アフリカ、マラウイにおける国際協力隊としての活動
- イスラエル、スイス、アメリカ合衆国における学び
- 民間国際援助団体スタッフ、Harvest 財団などの団体の設立、指導
- 成人教育および地域開発の Ph.D (博士号)

ボブは自ら所属する地域教会において長老および宣教部長を務めている。彼と妻ジュディには 3 人の成人した子供、および孫たちがいる。

■カーラ・テッシュ

1983 年以降、編集者を務める。彼女の知識、情熱、経験によって、「もしもイエス様が市長だったら」は、素晴らしいチャレンジに満ちた書物になった。しかし、何にも増して彼女の資質を言い表すものは、生涯を通して社会活動から福音伝道、聖礼典による礼拝からカリスマ派に至るまでの幅広さを受容し、ありとあらゆる地域教会に仕えてきたその経験である。彼女はそれらの教会から学び、霊的働きと社会的働きは相反するものではないと確信してきた。「もしもイエス様が市長だったら」は、彼女のメッセージでもある。

カーラと夫のジャックは所属教会とその地域において活動的に奉仕している。彼らには成人した 2 人の子供たちがおり、今も家族が新たに加えられている。